

2008年8月4日（月）



ようこそダイアログ Barへ！ -振り返り-

- 対話と組織開発のコミュニティー -

ダイアログBar 西村 勇也
ゲスト 福士恵里香さん

Dialogue Bar all rights reserved

本日の流れ



第4回 Dialogue Bar

チェックイン

ストーリーテリング by 福土さん 19:10 ~ 19:40

有限会社モエ・コンサルティング 代表 福土恵里香さん

オープントイム

(19:40 ~ 20:10)

ゲストとダイアログ

(19:40 ~ 20:40)

ゲストと双方向の談話コーナーで、
質問&ダイアログ！

ワールドカフェ

(20:10 ~ 21:40)

ワールドカフェで学びの共有と再
発見！

(談話コーナーの参加者も第二ラウン
ドからは、ワールドカフェに合流)

ラップアップ&チェックアウト

組織開発 & 対話

第一部 ストーリーテリング by 福士さん



福士絵里香さん

有限会社

モエ・コンサルティング

国際開発コンサルタント





素直なコミュニケーションを通じて・・・



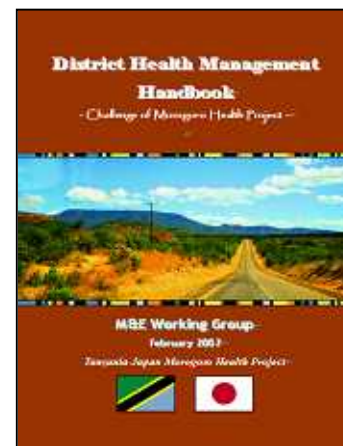
カウンターパートと向き合い、
本音で突き合って、はじめて組
織、制度、『生きた保健システ
ム』が見えてくる。



チームへの貢献

“Hello. We are at Mzumbe for planning. I explained something about O&OD and PRA. Members were not conversant about and I told them to refer to *our* book.

I was very happy.”



Dr. Nhangwa, MDO,
Morogoro Municipal CHMT,
M&E WG Coordinator,
March 2007

自信

“Many papers were presented. To me, these papers were not different from what we have been learning and doing, though it was my first time to attend international conference of NIMR. We are not too far.

We can do our best.”

Ms. Gutapaka, RNO, RHMT Morogoro, OPR WG Chairperson, at the 21st Annual Joint Scientific Conference of National Institute for Medical Research (NIMR), Arusha, March 2006



第一部 ストーリーテリングの様子



第二部 ワールドカフェ



ワールドカフェのテーマ



属する国や組織、集団が“同じ”であるということに、どのような意味があるでしょう。

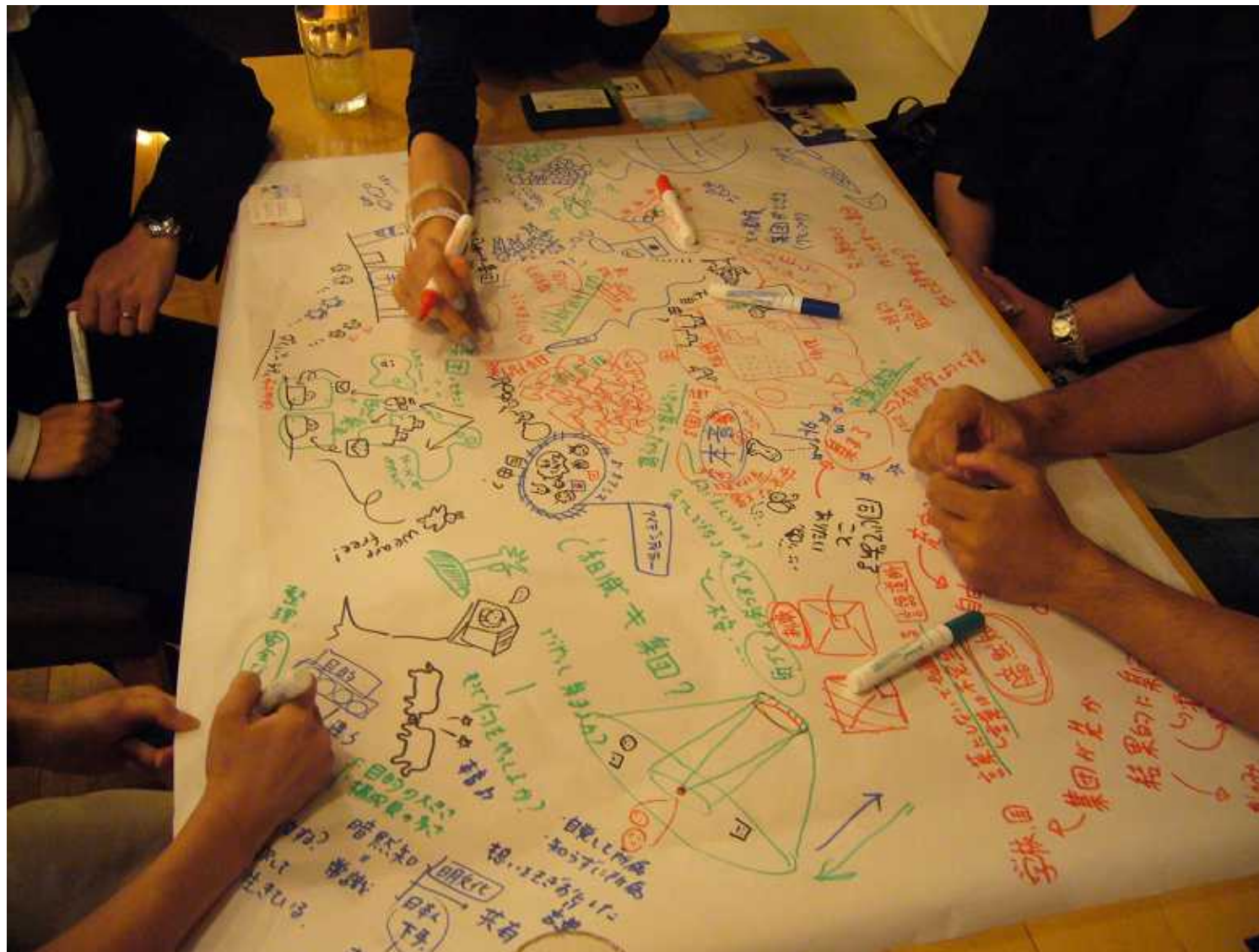
ワールドカフェの様子



ワールドカフェの様子



ワールドカフェの様子



ワールドカフェの様子



こんな人たちが参加しました



株式会社理究
キヤノン
グラフィックファシリテーター
総務省
デモクラフト
パーソナルコーチ
ヒューマンアソシエイツ株式会社
プロセス・ワーカー 臨床心理士
マッキンゼー&カンパニー
レアリゼ
日本プロセスワークセンター
日立ソフトウェアエンジニアリング
株式会社 おもしろい研修
NTTデータ
株式会社アイセス

USEN
株式会社ビスタポイント
(株)経営共創基盤 / 慶応大学
佼成学園
三井住友海上きらめき生命保険
社会起業家支援委員会
日本アドバンストシステム
株式会社テラ・コーポレーション
(財)神奈川県ふれあい教育振興協会
CSKシステムズ
保健医療科学院

計36名

アンケート



とっても満足	:	16人
そこそこ満足	:	10人
まあ普通	:	2人
ちょっと不満	:	1人
けっこう不満	:	0人

平均点 4.41点 (5点満点で換算)



ここから感想です。

(終了後に、学びと感想をポストイットに書いて貼ってもらいました)

同じでないと、組織って成り
立たないの？

帰属意識は人間の本能から
来ている

いつかジョハリの窓を縦横無
尽に動ける人になりたい

技術移転そのものよりも、相手の主体性を引き出すほうが難しいという話が、印象的でした。

・国際開発をする際の難しさを感じた。

・途上国の人材育成と企業組織の人材育成の共通点を理解できた。

難しい仕事のようにですが、楽しんでやってらっしゃるよう
に感じました。

難しい仕事のようにですが、楽しんでやってらっしゃるよう
に感じました。

「軸、中心、求心力」と「広がり、許容力」のバランス

というより補完作用

シンプルに生命力を発揮する！
突き合って濃い関係になって生
まれるものがある。

同じ景色を共有する

同じこと：当たり前で気づかない

違うこと：認めれば共存できる

視点の違いで全然異なるものになる。

・家族でも異質

同じで安心することもある
同じでイライラすることもある

生命力をお互いに持ち続けている。

カウンターパートの人たちに上から
技術移転ではなく、彼らの能力を伸
ばし、自信をつけることが重要とい
うお話がすばらしかったです。

「突き合う」

本音で素直にぶつかり合うこと
の大切さを改めて教えてい
ただきました！！

期待と裏切りは一生の問い

ジョハリの窓の進化形を見た！

集団などは、生物(人)にとって
必要不可欠なもの！

「同じ景色を見ている人がいる」ということは、当たり前だけどうれしいのはなぜか？

集団の持つ可能性、パワー
とネガティブな面、暴力性の
両方の面を感じられました

楽しかった。楽しかったけどこの会話が
どのように組織の創造性に結びつける
のか。これからもっと学んでいきたいで
す。

「同じである」ということをどこ
まで考えるか？「同じ」を考え
ると「違い」も考えてしまう

自然に帰れ ~ !

生命力だ〜！

昔の会社は楽しかった？

生命力

ニヨキニヨキ

乳飲み子を抱えたお母さん
の声は、行政担当者に伝
わっているのかいないのか

ダイアログBarという取り組み
で生まれる意識の集中が集
団への帰属意識を生み出す

人は孤独。そのことを受け入れられた
とき、他人を他人として受け入れる余
裕ができる。

集団への執着が消えてこそ、集団の機
能が活きる。

生命力

活発

持続可能

生命力のカタリストになる。

属しているということに意識
をどれほどしているかな？

濃い生命力

情報量は人脈の量

受け入れることが大切です
ね

入り口が広いといろんなテーマが出てきますね。

思いがけないところに流れつきました

同じであると意識するには知
識が必要！！

組織では情報共有がキモ！

本音とモチベーションが共有
できる場

生きる源がお互いに見えて
いる

初対面の方々と本心で気持ちよく語り合えるワールドカフェってすごい！

チームであってもグループの
ようななれ合いの部分が出
てくる。

大事なものは
“場”
があること

チームとグループの違い

(チームはビジョンをもっていて、
グループはもっていない)

ワールドカフェとは、ワークショップの一形式であると思いますが、

ラウンドを回すのは面白い！

異 異なる価値観
文化

突き合う

相手を知ることによって、“共通”（同じ）の認識を持つと、集団はうまくいくのかな、と思いました。

同 共通の目的
文化

知識 + 技術 +

安全な場

こたつの絵 (再現できませんでした。。)

素直なコミュニケーションが大事
相手と向き合い突き合うこと
本当に大事なことが見えてくる

次回予告

次回のゲストは、プロセスワーカー
「桑原 香苗さん」を予定しています。
アーノルド・ミンデルが創始したプロセス志向
心理学と学習する組織。接点は、ダイアログと
メンタルモデルです。

日程は、9月11日（木）。詳細は、ブログ
（<http://positivelearning.seesaa.net/>）
または、メーリングリストより。

Presented by DialogueBar

Dialogue Bar all rights reserved

今後の予定

8月18日（金）ミニ・ワークショップ
「ビールゲームをやってみよう！」

8月23日（土）ラーニングワークショップ
「システム思考から始まる対話と組織開発」


9月11日（木）第5回ダイアログBar
「プロセスワーカー 桑原 香苗さん」

9月20日（土）21日（日）ラーニングワークショップ
「システム思考（仮）」

11月2日（土）3日（日）ラーニングワークショップ
「組織開発とプロセスワーク（仮）」

Presented by DialogueBar

Dialogue Bar all rights reserved



福士さん、準備を手伝ってくれた方々、参加者の皆さま、カフェのスタッフの方へ

本日は、ありがとうございました。

Presented by DialogueBar

Dialogue Bar all rights reserved